

白馬だより

2018年5月号

泉州労山・大町労山 鈴木 均

全国的に3月下旬から暖かいようだが、白馬村に住んでから今年はずっともそれを感じる。昨年知り合いからいただいた福寿草は、見事に冬を過ごし雪解けを待っていたかのように、ほとぼしするような黄色の輝きがまばゆいくらいに咲き誇った。

いつもならゴールデンウィークの頃に桜が満開になるが、今日4月20日現在で周囲の桜もほぼ満開、この土日が最高の見頃ようだ。とにかく雪解けが早く、庭の花々が一斉に咲き始めた。いつもなら順番があるのに、蔭の臺が顔を出すのもカタクリが咲くのも、ほとんど同じ日だった。いまではカタクリは枯れ始めているのもあるが、ツクシの隣で鮮やかなうす紫に輝いている。

県警の春山情報では、穂高など北アルプス南部の積雪量は例年並みとの記述であるが、後立山連峰は「例年より少なめ」としている。瀬沢ヒュッテの小屋明け情報では、例年より1mほど少なく5月中旬並みだと報道されていた。

4月3日に遠見尾根の大遠見まで、昨日19日には爺ヶ岳南尾根に登ってきたが、印象としては「例年より少なめ」というより「かなり少なめ」と感じた。遠見尾根は日当たりがよいので、朝の登り



4月2日、家の庭に咲く福寿草

から雪の踏み抜きが頻発。一日アイゼンを使わずじまいだった。爺南尾根は、過去4回登っているが自分の経験としては最も少雪に思えた。アイゼンはほとんど使わなかった。

一昨日、樽池から白馬をめざした単独の若者が滑落してテントで一晩を明かしたが、幸い命に別状はなく昨日県警へりに救助されたようだ。これからが春山本番。ゴールデンウィークの天候が心配だが、登山日和を願うものである。気



4月3日、大遠見あたりからの鹿島槍

温は例年よりやや高いと思っっているのではないだろうか。

4/20 記